

郵便
報知新聞
第六百四十五号

芝増上寺山門前桑田鈴平と云へる
西洋酒を賣る家へ外國人二人來り
て酒を來め飲居るが狀で兩人と
鈴平が妻と娘みちいあせりが妻の
あつらひに逃出一ふり娘をむすあ
かあつらひのむす十三の小むすめられ
へ振とるすちうちうちつひは強淫
されて疵さへうけしつゝ鈴平より
その由とけ出衝あらせ吟味と云
まゝ外國人へ六ヶ月入牢とな
まゝ此外國人の名をキレと云
り英人より政府あせとひの者
あつらひ

三桂の圓朝記



大瓶 芳野

